

# 「鎌倉時代の鎌倉」を堪能する秋宴として。

八百年前の鎌倉に辿り着く

武家祝い膳とともに、

武士たちが愛した

白拍子の歌舞に

心ゆだねる。



鎌倉に捕らえられた平重衡(たいらのしげひら)が、

往生を願って白拍子・千手前(せんじゆのまえ)と

歌い交わした曲「極楽ねがわん人はみな」、

そして鶴岡八幡宮で源頼朝の前に

白拍子・静と三人の武士の囃子方が

披露した曲「しずやしず」をはじめとする

歌舞の数々を復元します。



写真：源頼朝の座像(源氏山公園)と円覚寺 塔頭 続燈庵の参道



桜井真樹子(白拍子)

龍笛を芝祐靖に、天台宗大原流  
声明を中山玄普に師事。一九七  
年より、白拍子の復元を始め、「鬘  
多々良(ひんたたら)」、「水猿曲  
(みずのえんぎょく)」、「蓬萊山(ほ  
うらいざん)」、「廻惚(かいこ)」、  
など、二十年に渡り公演を続け  
る。二〇〇七年より創作能「マン  
ハッタン翁」「橘の姫」「岸辺の大  
臣」沖縄平家物語などを発表。  
二〇一九年よりハイパー能「睡蓮」  
「投石」「高浦冠」を発表する。



田中傳十郎(能管・篠笛)

東京都墨田区出身。一六歳か  
ら望月長次郎に師事。国立劇  
場鳴物研修終了後、田中傳左  
衛門社中に所属し歌舞伎座  
で初舞台。二〇〇五年三代目  
田中傳十郎の名を許され、平  
成中村座海外公演にも参加  
するなど、数々の舞台を勤め  
る。二〇二二年東京二〇二〇オ  
リンピック開会式にて演奏。  
邦楽囃子「桐筍會」主宰。



望月左太郎(大鼓)

日本舞踊立花流二代目家元  
立花寿美造の長男として生  
まれ、現在は邦楽囃子演奏  
家として個人や様々なグル  
ープを通し邦楽の魅力を広  
める為に活動。舞踊家・立  
花寿美造としても活動。若  
獅子会として「創造する伝  
統賞」などを受賞。国立劇場  
主催「明日をになう新進の  
踊・邦楽鑑賞会」出演。



望月左太助(銅拍子)

一九九六年東京都出身。幼少  
より和太鼓を始め邦楽囃子  
を望月左太郎、長唄を東音味  
見純に師事。東京藝術大学邦  
楽科卒業。浄観賞、安宅賞、ア  
カサス音楽賞を受賞。国内  
外の演奏・舞踊会、歌舞伎公  
演で活動する一方、NHK大  
河ドラマやEテレにも囃物で  
出演。

武家膳料理と白拍子ホームページ  
[www.sakurai-makiko.com/kamakura](http://www.sakurai-makiko.com/kamakura)

